

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年07月14日

計画の名称	高梁市における災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和06年度（4年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	高梁市													
計画の目標	本市は平成30年7月豪雨により、市内全域において被害が発生しており、中でも一級河川の高梁川と成羽川の合流付近および下流域で大きな被害が発生し、広瀬地区は甚大な被害を受けた。 地域コミュニティの維持を図り、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、地区緊急避難施設の整備することにより、円滑な避難体制を確保し、避難困難者が発生しない災害に強いまちづくりを進めていくことを目標とする。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		265	A	265	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R6末
1	広瀬地区は、高梁市の東南端に位置し、現在、地区内に安全な避難施設がないため、指定されている避難施設までの約5kmの距離を車で移動しなくてはならないが、避難経路である国道180号は早々に冠水し通行止めになる。そのため地区内に避難施設を整備し、住民の不安解消を図る。			
	洪水時に安全な地区内の避難施設へ避難できない住民の数	50人	人	0人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	高梁市	直接	高梁市	－	－	被災地における復興まち づくり総合支援事業（広 瀬地区）	地区緊急避難施設 A=105㎡	高梁市	■	■	■	■		265		－
											小計						265		
											合計						265		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
高梁市土木部において評価を実施	令和8年7月
	公表の方法
	高梁市ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	地区内に避難施設が整備されたことで、円滑な避難体制の確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	災害時だけでなく、平常時には地区内の住民による避難訓練等を実施しており、地域の防災力の向上が図られている。
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	0人	
	最 終 実績値	0人	